

- 03 クローズアップ  
山口太鼓の会  
地域と共に半世紀 感謝を込めた創立50周年記念コンサート
- 04 市長の年頭のごあいさつ
- 06 市からのお知らせ  
4月から製品プラスチックの収集がスタート！／国民健康保険税の産前産後期間軽減制度スタート ほか
- 08 図書館情報  
市立図書館1月の特集 ほか
- 09 各種無料相談／地域おこし協力隊便り  
1月の各種無料相談日程／地域おこし協力隊便り
- 10 まちの話題  
市長と語るタウンミーティング／宮古の農業まるごと体験「りんごの収穫」／第6回津軽石郷土芸能祭／お正月飾りを作ろう！講座
- 11 伝えたい想いがある！みやこ未来議会2023
- 15 健康プラザ  
健康相談日程 ほか
- 16 子育て情報  
にこにこルームみやこ／つどいの広場／ハッピーバースデー ほか
- 18 情報掲示板  
公民館・各市民団体などの催し ほか
- 20 お知らせ  
市地球温暖化対策実行計画（案）への意見を募集 ほか
- 22 スタジオから・俳句・お知らせ
- 23 ふるさと博物館  
縄文時代の装いー耳飾りー
- 24 まちの話題ピックアップ  
みやこ“冬の味覚”イベントリレーがスタート！



発車前にパシャリ。楽しいこたつ列車の旅が始まる予感！



温かい車内では、会話も弾みます♪



運行初日となったこの日は、JALふるさとアンバサダーの渡邊恭子さんが車内放送を担当しました

## 1月の納期

### 1月の市税の納期

市県民税第4期

国民健康保険税第7期

### 1月の夜間・休日の納税相談窓口

【夜間】○期日＝1月25日(木)

○時間＝午後5時15分～8時

【休日】○期日＝1月28日(日)

○時間＝午前8時30分～正午

※市役所への出入口は2階の市民交流センター側（東側）のみとします。ほかの出入口は施錠されていますので、ご注意ください

※1月の夜間窓口は、25日(木)のみですのでご注意ください

※市税などの納付は口座振替が便利です

■問い合わせ 市税務課収納係（☎68-9074）

### こたつ列車に揺られて 体も心もぽっかぽか♪

●撮影日 12月9日

●場 所 三陸鉄道洋風こたつ列車内



## 1月の表紙

12月9日、三陸鉄道洋風こたつ列車の第1便が、宮古駅から釜石駅に向けて出発しました。

車内では、宮古名物“瓶ドン”や洋風こたつ御膳といった豪華なランチを堪能する乗客の姿も。米田賢司さん（30、大通）は「内装がおしゃれで気分が上がる。おいしい“瓶ドン”も食べることができて大満足です」と旅を満喫していました。

洋風こたつ列車の運行日など、詳しくは、三陸鉄道のホームページをご覧ください。

## 地域と共に半世紀 感謝を含めた創立50周年記念コンサート

山口太鼓の会 会長

佐々木 清 さん (ささき・きよし 74歳)

本市を拠点に活動を続けている「山口太鼓の会」。同会の創立50周年記念コンサートが、昨年12月に市民文化会館で開催されました。創立メンバーでもある会長の佐々木清さんは「実は、50周年を迎えたのは令和4年。コロナ禍で観客の入場を制限するよ



という曲で、地域の人の前で叩くと、とても喜ばれた。それが太鼓演奏団体として活動を始めるきっかけだった」と当時を回想します。当初は太鼓が揃わず、黒森神社の参道で丸太やバケツを叩いて練習を行っていたといいます。佐々木さんは続けて「太鼓は

り「一人でも多くの人に演奏を届けたい」と、コンサートを一年遅らせた。当日は満員に近い客席を見て、感謝の気持ちで胸がいつぱいだった」と公演を振り返ります。佐々木さんは、地域を盛り上げたいと昭和47年に同会の前身となる「若者会」を結成。「初めて叩いたのは歌や踊りが得意だった父が教えてくれた『馬鹿ばやし』

佐々木さんは、これまで歩んできた道のりを「人との出会いに恵まれ、それを大切に出来ないで来た50年間」と振り返ります。中でもシンセイザイパーユニット「姫神」との出会いは大きな出来事で、スペインや中国などの海外公演でも共演を果たしました。「活動を通じて会員たちの成長を感じられることが何よりうれ

『ドン』という一つの音しか出ないが、その響きは人の心の奥底まで伝わり、奏者と観客の想いをつなぐ力がある」と魅力を語ります。同会が演奏する曲は、全て自分たちが創作したオリジナルの楽曲です。「今の曲たちは、父が教えてくれた『馬鹿ばやし』を発展させたもの」と語る佐々木さん。活動を続ける中で曲数を増やし、週3回の練習と積極的な演奏活動を重ね、腕を磨いてきました。



創立50周年記念コンサートの様子

しい。活動を継続して宮古をさらに盛り上げてほしい」と同会の未来を見つめます。「元気をもらった」との声。佐々木さんは「皆さんに恩返しするため、これからも元気に太鼓を叩き続けたい」と意気込み「4年後の55周年コンサートでは、さらに進化した山口太鼓を披露したい」と熱い想いを胸にバチを握ります。

「継続は力なり」 地域に太鼓を響かせて笑顔と元気を届けたい